

メキシコ

——国際協調のもとで進展する オープンガバメント・データ整備——

村井友子

メキシコで「オープンガバメント・データ」（以下、OGD）に関する取り組みが本格的に始動したのは2013年のことである。本稿では、現在のオープンガバメント公開の基盤となるメキシコ政府の方針・計画・法制度整備、ポータルサイトの特徴、および今後の課題について考察する。

●国際コミュニティで存在感増すメキシコ

近年、メキシコはOGD整備を推進する国際的なコミュニティのなかで活躍し、その存在感を高めている。

たとえば、2011年に結成された多国間イニシアチブ Open Government Partnership（以下、OGP）には創設当初から運営に携わり、2015年10月には、議長国として第3回OGP Global Summitをメキシコシティで主催した。基調テーマを“What is the Next Frontier?”と題したこのサミットには、各国政府、市民団体、ビジネス界の関係者約1500人が会し、国際連合が掲げる「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」の枠組みのなかで、「オープンガバメント=開かれた政府」（以下、OG）推進のための行動計画や、オープンデータの整備と利活用の促進について意見交換を行った（参考文献①、②）。

その一方で、同国は、2013年9月から2014年3月にかけて、途上国向けのオープンデータの支援活動を行う世界銀行のアセスメントを受け、OGD公開に向けた国家レベルの制度設計と政策の戦略作りを進めた（参考文献③）。

自由貿易により経済のグローバル化を推進するメキシコ政府は、上記のような国際的な取り組みに積極的に関与し、歩調を合わせてきた。結果、メキシコは、国際的なガイドラインに則したOGDの制度設計と公開を短期間で実現したとOECDからも高く評価され（参考文献①）、Global Open Data Index 2016年（参

考文献④）とThe Open Data Barometer 2016年（参考文献⑤）の双方で、世界第11位にランキングされている。

次項では、メキシコ政府によるOGに向けた具体的な制度構築の歩みについて概説する。

●制度構築の歩み

まず、メキシコ政府によるOG実現に向けた制度設計の前史として特筆すべきは、ピセンテ・フォックス政権（2000～06年）による情報公開法の施行であろう。71年に渡って与党の座についていたメキシコ制度的革命党（以下、PRI）から政権奪還を果たした国民行動党（以下、PAN）の同政権は、「誠実で透明性の高い政府」を政治的スローガンに掲げ、その一環として情報公開と個人情報保護に関する法整備に着手した。

2002年に「情報公開および政府公共情報へのアクセスに関する連邦法」が議会の全会一致で可決され、2003年に施行された。同法は、連邦政府の行政府、司法府、立法府、および、その他の連邦政府の関連機関が保有する情報へのアクセスを市民に保障することを目的とし、この時、情報開示と個人情報保護を連邦政府レベルで監視し、保証する連邦情報公開庁（以下、IFAI）が創設された（参考文献⑥）。

OGとは、インターネットを活用して、政府を国民に開かれたものにしていくことにより、政府の透明性を高め、市民参加を促し、官民協働を推進する政策であり、OGDとは、このOGの考えに基づき、政府が保有する情報のうち、誰でも自由に使えるデータを増やし、それらを探しやすく、加工・再利用・再配布しやすいオープンデータの形式で公開していく政策である。OGとOGDは、2009年に米国のオバマ大統領が大統領就任時に提唱して以降、世界各国に拡がり、情報公開制度とともに政府の透明性を高める車の両輪の役割を担っている。

先述のとおり、メキシコはフェリペ・カルデロン大統領政権期（2006～12年）にOGPの運営国になり、この国際的なOGコミュニティと協調しながら、2011年より2年周期で第1次から第3次まで「OG推進のための行動計画」を策定・実施してきたが（参考文献⑦）、本格的なOG政策は、2013年にペニャ・ニエト大統領政権（2012年12月～）により始動した。この間、カルデロンのPAN政権からペニャ・ニエトのPRI政権へと与党が交代しているが、同国のたゆまぬ国際協調路線とともに、OG政策は方針の変更なく、継承されたといえよう。

2013年11月、ペニャ・ニエト政権は「国家開発計画2013-2018」の枠組みのなかで「国家デジタル化戦略」を打ち出している。同戦略によるとメキシコは、2011年時点でデジタル化指標がOECD加盟国のなかで最下位、ラテンアメリカ諸国のなかでも5位と後塵を拝していた。メキシコ政府は、情報通信技術（ICT）の普及・向上とデジタル化の推進により、2018年までにメキシコのデジタル化指標をOECD加盟国の平均値まで引き上げ、ラテンアメリカ地域のリーダーになるという目標を設定している。このデジタル化戦略達成のための5つのアプローチの1つにOGDの整備が挙げられ、このなかで市民参加の促進、政府の透明性の向上、公共サービスの改善、政府の説明責任を実現していくことが提唱された（参考文献⑧）。

メキシコのOGDのポータルサイトDatos Abiertos México (<http://datos.gob.mx>) は2014年にベータ版がリリースされ、2015年から公式サイトとして本格稼働した。2015年2月、ペニャ・ニエト政権は、OGDに関する大統領府令を官報で公告し、大統領府内に設置された国家デジタル戦略調整局（以下、CEDN）がOGD整備を主導していくこと、並びに、公共行政省（SFP）の電子政府局（UGD）が、メキシコのOGDのポータルサイトの当局として、OGDの公開とサイトの運営にあたることを明らかにした（参考文献⑨）。

CEDN内に設置されたオープンデータ調整室は、メキシコのOGDのテクニカル・ガイドラインと基準を策定し、OGDの技術顧問的な役割を担う国立統計地理情報院（INEGI）と連携しながら、オープンデータの整備と活用に関する指導と普及活動をメキシコ各地で行っている。この大統領府肝煎りのサポート体制により、メキシコのOGDの整備は、短期間で大きく進

展した（参考文献①）。

さらに同年5月、同政権は「情報公開および公共情報へのアクセスに関する一般法」を公布し、法制度面での強化を図っている。同法は、情報公開・個人情報保護の対象を連邦政府レベルから地方政府レベルまで拡大し、メキシコ憲法第6条で定められた「市民の公共情報へのアクセス権の保障」を「国家透明性システム」（Sistema Nacional de Transparencia）として機能させることを目的とするものである。

この法律のなかで、メキシコで初めて、OGDの定義と公開が法令の条文として盛り込まれた。具体的には、公共性を持つデジタル・データを利用・再利用・再配布可能なオープンデータとして整備すること、メタデータを整備すること、無償提供すること、誰でも登録なしでデータを活用できること、データ更新を速やかに行うこと、歴史的に価値あるデータの永久保存と提供を行うこと、加工せずに原データの状態で提供すること、機械可読性の高いデータを提供すること、自由な利用が保証されていることなど、オープンデータの定義が盛り込まれ（第3条）、各州の保障機関（情報公開庁等）がOGD公開を推進していくこと（第51条）が定められている。

さらに同法により、先述のIFAIが国立情報公開庁（以下、INAI）と改名され、同庁が各州政府の情報公開庁等と連携を図りながら、市民の公共情報へのアクセス権、個人情報保護、政府の透明性と説明責任を第三者機関として保証・監視していくことが定められた。この「国家透明性システム」とINAIの役割と権限の強化により、メキシコの情報公開制度とOGはより包括的な制度に裏付けられることになった（参考文献⑩）。ちなみに、先述の「OG推進のための第3次行動計画」は、このINAI、大統領府のCEDN、市民団体の代表の三者が協力して策定したものである（参考文献⑦）。

以上が、21世紀初頭から今日までのメキシコ政府による情報公開とOGのための制度構築の歩みである。政府の透明性向上のための諸制度の整備は、どの政権においても重点政策の1つに位置付けられてきたことがうかがわれる。それでは次に、メキシコのOGDの公開状況を概観してみよう。

●メキシコのOGD

メキシコのOGDのポータルサイトでは、現在2万

表1 メキシコの政府機関別公開データセット数（トップ20）

2017年11月10日現在

ランキング	機関名	データセット数
1	生物多様性の知識と利用に関する国家委員会（CONABIO）	4,679
2	メキシコシティ空港グループ（Grupo Aeroportuario de la Ciudad de Mexico）	294
3	ハリスコ州政府（Estado de Jalisco）	220
4	社会開発庁（SEDESOL）	146
5	エネルギー省（SENER）	137
6	国立統計地理情報院（INEGI）	133
7	メキシコ社会保険庁（IMSS）	130
8	内務省（SEGOB）	95
9	国家保険金融委員会（CNSF）	93
9	公共行政省（SFP）	93
10	プエブラ市役所（Ayuntamiento de Puebla）	86
11	コリマ州政府（Estado de Colima）	82
12	国家水委員会（CONAGUA）	75
13	農産物・食品の衛生・無害・品質検査国家システム（SINASICA）	70
14	労働福祉省（STPS）	61
15	環境資源省（SEMARNAT）	60
16	大統領府（Presidencia）	53
16	外務省（SRE）	53
17	メキシコ郵便局（Correos de México）	52
18	メキシコ石油公社（PEMEX）	48
19	連邦検察庁（PGR）	48
20	国立工科大学（IPN）	46

(出所) Datos Abiertos Mexico (<https://datos.gob.mx/>)より筆者作成。

8365（2017年11月10日現在）のデータセットが公開されている。このオープンデータは241の公的機関により公開されたものである。公的機関は、連邦政府の省庁・関連機関、公企業、州政府、市役所で構成されている。

表1は機関別公開データセット数上位ランキング20位までの機関をまとめたものである。トップは、生物多様性の知識と利用に関する国家委員会（CONABIO）で、4679のデータセットを公開している。CONABIOは、メキシコ国土に生息する5万種以上の動植物とその地理・地図情報など、生物多様性に関するデータベースを構築し、OGDとして公開している（参考文献⑪）。環境保全に取り組む国内外の機関の協力を得て構築したこのデータベースで公開されているオープンデータは、生物学の研究や環境保全活動などで再利用され、新たな価値を生み出している。UNESCOの自然保護区に登録されているカリフォルニア湾の環境保全に取り組む市民団体等とのデータを通じた連携協力は、その好事例の1つである（参考文献①）。

一方、メキシコ連邦政府間でOGDの再利用が活発

に行われている分野に、エネルギー情報がある。メキシコでは、1938年以降80年近く、メキシコ石油公社（以下、PEMEX）が独占してきた石油産業に、外資を含む外部石油会社の参入を可能にする憲法改正が2013年に実施された。エネルギー改革を推進するペニャ・ニエト政権にとって、エネルギー産業の競争力強化は最重要課題の1つであり、エネルギー分野の各種データの利活用は大きな経済効果を生み出す潜在的可能性を秘めていることから、強い関心が寄せられている。OECDの報告書によると、メキシコ政府間で近年最も活発に利用されたのは、PEMEXのOGDであった（参考文献①）。PEMEXの操業にはビッグデータのソリューションが活用されており、今後、データの拡充と公開が官民双方から期待されている

（参考文献⑫）。

他方、地方政府のOGD公開に目を向けると、表1のトップ3にハリスコ州がランキングされている。ハリスコ州は、連邦政府が地方政府とのOGD連携を目的として2014年にオープン・メキシコ・ネットワーク（Red México Abierto）を立ち上げた際に、パイロット・プランで選ばれた3州の1つである。同州は、独自のOGローカル・アクションプラン（参考文献⑬）を策定し、OGPにも地方政府として参加するなど、OGに積極的な姿勢で取り組んでいる。公開されているデータセットは、科学技術、社会開発、経済開発、商業、教育、雇用、地理・統計、インフラ、環境、交通、医療、セキュリティ、観光と多岐にわたる。

Red México Abiertoには、現在メキシコ全32州のうち14州と全2438の市（ムニシピオ）のうち15のムニシピオが参加している。メキシコ連邦政府は、州レベルにとどまらず、ムニシピオ・レベルまでOGDを普及させることを目標にしており、「防災・環境などリスク管理」に関連する洪水・水源、災害リスクの高い地域、大気の状態などの情報、「犯罪情報」、汚職抑制と

民間投資促進を目的とした「地所・不動産情報」、都市計画や交通インフラの設計を目的とした「人の移動」に関する情報という4つの分野を重点的に、ムニシピオ・レベルでのオープンデータ公開のための普及活動を実施している（参考文献⑭）。

●今後の課題

以上、本稿では、メキシコ政府によるOGDの取り組みを概観した。メキシコのOGとOGDは、国際的な取り組みへの積極的な関与と大統領府主導のトップダウン体制により精力的に推進されてきた。その結果、メキシコでは短期間でOGDの拡充が進み、その活用も徐々に広がっている。

OECDは、メキシコの今後の課題として、汚職防止、気候変動、経済活動、妊娠婦死亡率の削減などの分野でOGDを戦略的に活用していく必要性を指摘している（参考文献①）。

これらの課題を達成していくためには、各政府機関が、プロジェクトの立案や公共サービスの前線に近い位置にオープンデータの知見を持つ人材を配置し、ニーズを把握しながらOGDの公開や利活用を促進する体制をとることが必要となろう。

最後に、汚職防止の取り組みについて言及すると、メキシコ政府は2016年より国家会計監査システムへのOGDの活用を試行している（参考資料①）。Transparency InternationalのCorruption Perception Index 2016年（参考文献⑮）で176カ国中123位という低い評価を受け、慢性的な汚職問題を抱える同国が、汚職防止のためにOGDを有効活用していくことを期待したい。

（むらい ともこ／アジア経済研究所 図書館）

《参考文献》

- ① Organisation for Economic Co-operation and Development, *Open Government Data Review of Mexico : Data Reuse for Public Sector Impact and Innovation*, Paris: OECD Publishing, 2016.
- ② Open Government Partnership (<https://www.opengovpartnership.org/>).
- ③ Organisation for Economic Co-operation and Development, *Digital Government Strategies : Good Practices : Mexico : Red México Abierto*

(<http://www.oecd.org/gov/mexico-open-mexico-network.pdf>).

- ④ Global Open Data Index (<https://index.okfn.org/>).
 - ⑤ The Open Data Barometer (<https://publicadministration.un.org/egovkb/Data-Center/>).
 - ⑥ 総務省大臣官房企画課「メキシコの行政」平成22年3月 (http://www.soumu.go.jp/main_content/000085175.pdf).
 - ⑦ Alianza para el Gobierno Abierto, Plan de Acción : Tercer Plan de Acción Nacional de México en la Alianza para el Gobierno Abierto 2016-2018 (<http://gobabierto.mx/noticias/plan-de-accion-2016-2018/>).
 - ⑧ Gobierno de la República. Estrategia Digital Nacional, noviembre de 2013 (https://www.gob.mx/cms/uploads/attachment/file/17083/Estrategia_Digital_Nacional.pdf).
 - ⑨ Diario Oficial de Federación, Decreto por el que se establece en materia de datos abiertos, 20 de febrero de 2015 (<http://www.dof.gob.mx/>).
 - ⑩ Estados Unidos Mexicanos, Ley general de transparencia y acceso a la información pública (<http://www.diputados.gob.mx/LeyesBiblio/pdf/LGTAIP.pdf>).
 - ⑪ Comisión Nacional para el Conocimiento y Uso de la Biodiversidad (<https://www.gob.mx/conabio>).
 - ⑫ Hung, Patrick C.K. ed., *Big Data Applications and Use Cases*, Springer, 2016.
 - ⑬ Technical Secretariat for Open Government Jalisco, Open Government Local Action Plan Jalisco, 2016-2018 (https://www.opengovpartnership.org/sites/default/files/Jalisco_Subnational_Action-Plan_2016-2018_EN.pdf).
 - ⑭ México Gobierno de la República, Red México Abierto : Foro Agenda para el Desarrollo Municipal (http://www.adm.gob.mx/work/models/ADM/Resource/172/1/images/ANIA_CALDERON_Red_Mexico_Abierto_Presidencia.pdf).
 - ⑮ Corruption Perception Index (<https://www.transparency.org>).
- （すべての文献のインターネット最終アクセス日：2017年11月1日）